

対応方針（2025プラン）の変更（周南リハビリテーション病院）

病床機能報告における 病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容					備考 （対応方針の実 施予定時期等）
機能 区分	R6 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能 区分	現行	変更後	
高 度 急性期			・回復期機能と慢性期機能を担う。	・地域におけるリハビリを中心とした回復期機能の一翼を担う。 ・市町との連携強化により、地域住民への介護予防活動の積極展開により、地域との連携を図っていく。また、地域基幹病院との連携はもとより、クリニック等との連携も強化していく。 ・病棟機能強化のため、令和4年8月に病床数の見直し（回復期40→44床、慢性期170→166床）を実施済み。 ・慢性期の6床を、市内中心部に位置する同法人である徳山リハビリテーション病院へ、回復期病床として移設し地域の回復期機能強化に貢献する。 ・引続き医療従事者の確保を、創意工夫の上行い、回復期及び慢性期の両面で地域住民に選ばれる医療を提供する。	高 度 急性期			・増床側の準備が出来次第、速やかに。
急性期					急性期			
回復期	44	44			回復期	44	44	
慢性期	166	166			慢性期	166	<u>160</u>	
休 棟					休 棟			
合 計	210	210			合 計	210	<u>204</u>	

対応方針（2025プラン）の変更（徳山リハビリテーション病院）

病床機能報告における 病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容				備考 （対応方針の実 施予定時期等）	
機能 区分	R6 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能 区分	現行		変更後
高 度 急性期			・回復期機能を担う。	・今後も回復期機能を有する医療機関として、 地域におけるリハビリを中心とした医療提供病 院としての役割等を担っていく。 ・市町との連携強化により、地域住民との連携 を図ると同時に二次医療圏の地域基幹病院はも とより、医院・クリニック等との連携強化を図 る。 ・同法人である、周南リハビリテーション病院 より慢性期病床6床を減床させ、当院での回復 期病床6床を増床する計画を実施したい。病院 間で病床を移動する理由は、地域での患者さま の需要など考え検討した。 また、この病床移動は周南医療圏での過剰な慢 性期病床を減らし、不足する回復期病床を増や すことになるため、医療分化を推進する地域医 療構想に資する取り組みとして、より地域への 貢献になると考えた。	高 度 急性期			・増床側の当 院の準備が出 来次第、速や かに。
急性期					急性期			
回復期	120	120			回復期	120	<u>126</u>	
慢性期					慢性期			
休 棟					休 棟			
合 計	120	120			合 計	120	<u>126</u>	